

10/3

14:00
-16:00

NPO 助成金基礎講座

准認定ファンドレイザーから、助成金について基礎を学び、今後の活動につなげていく講座です。

◆申込フォーム◆



場 所 コムズ3階会議室2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 助成金申請が初めての方など初心者向け 20名

9/26

15:00
-17:00

令和7年度 子どもゆめ基金 助成金講座

令和8年4月から対象の子どもゆめ基金の説明や申請書の書き方についてのワークショップを行います。

場 所 コムズ3階会議室2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 助成金申請が初めての方など初心者向け 10団体

主 催 国立大洲青少年交流の家

共 催 まつやまNPOサポートセンター

◆申込フォーム◆



国立大洲青少年交流の家の右記申込フォームからお申込みください。

各イベントや講座の詳細は、まつやまNPOサポートセンターホームページに掲載しています。

参加希望の方は、メール、FAX、申込フォームにて、お申込みください。参加費は無料です。

2025年度 10月～3月 NPO学生インターンシップ

学生が地域課題・社会課題の解決に取り組む松山市のNPOの活動に参加し、その解決の進め方や考え方を体験・実践するインターンシップです。

ご興味のある学生さんは、受付期間など詳細をご覧ください。ぜひお問合せ・お申込みください。

場 所 コムズ内センター事務所
(松山市三番町六丁目4-20)

◆詳細ページ◆



対 象 松山市在住、通学、または、松山市でのNPO活動に関心のある13歳以上の中学生、高校生、大学生、専門学校生等 3名

サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel 089-943-5790

Fax 089-943-5796

Email pico@npo.coms.or.jp

HP <http://www.npo.coms.or.jp/>

Blog <http://blog.canpan.info/saposen/>

受付時間 平日 9:00～18:00 日祝 9:00～17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)

Facebook



Instagram



まつやまNPO 検索



サポセンだより

2P 特集

職場での熱中症対策の義務とは？

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されました



2025

夏号

4P

まちづくり提案制度(松山市市民活動推進補助金)が改正され、使いやすくなりました!～小学生から大学生が対象～

5P

令和7年度松山市市民活動推進補助金採択団体決定!

6P

令和6年度 市民活動推進補助金採択団体活動報告 NPO Cafe～NPOぶち交流会～開催報告

7P

令和7年度 松山市市民活動推進補助金採択団体の活動報告

8P

イベント開催のお知らせ

職場での熱中症対策の義務とは？

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されました

暑い日が続き、気温35度越えも珍しくなくなっている近年、夏で特に問題になっていることのひとつに「熱中症」があります。

熱中症による救急搬送者数は増加傾向にあり、特に2018年、2024年など猛暑になった年には、過去最高をそれぞれ記録しています。総務省の発表では、令和6年5月～9月の救急搬送者数は97,578人となりました。発生場所でも多いのは住居ですが、職場（仕事場）でも熱中症が発生しており、職場での熱中症による死傷災害も増加傾向にあります。

そのため、労働安全衛生規則が改正され、熱中症対策を事業者が講ずべき措置等に関して新たな規定が設けられました。

そこで、今回は、改正労働安全衛生規則に規定された内容や事業者の措置義務、熱中症対策についてご紹介したいと思います。

1 労働安全衛生規則とその改正内容

労働安全衛生規則とは、労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境を作ることを目的とした厚生労働省が発行した省令のことです。

そのうち、今回の改正では、612条の2が新設されました。その概要は、以下になります。

改正概要

1 熱中症を生ずるおそれのある作業（※1）を行う際に、

- ①「熱中症の自覚症状がある作業員」
- ②「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制（連絡先や担当者）を事業場ごとにあらかじめ定め、関係作業員に対して周知すること。

※1 WBGT（湿球黒球温度）28度又は気温31度以上の作業場において行われる作業で、継続して1時間以上又は1日当たり4時間を超えて行われることが見込まれるもの。

WBGT（暑さ指数）

危険	31℃以上	運動は原則中止
厳重警戒	28℃～30℃	激しい運動は中止
警戒	25℃～28℃	積極的に休息
注意	21℃～25℃	積極的に水分補給
ほぼ安全	21℃未満	適宜水分補給

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等



2 熱中症を生ずるおそれのある作業を行う際に、

- ① 作業からの離脱
- ② 身体の冷却
- ③ 必要に応じて医師の診察又は処置を受けさせること
- ④ 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地など、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置に関する内容や実施手順を事業場ごとのあらかじめ定め、関係作業員に対して周知すること。

2 事業者の措置義務

このように事業者（人を雇用している法人、個人事業主など）に対し、「報告体制の整備」「手順等の作成」「関係者（※2）の周知（教育）」という3つの義務が発生します。

これらの義務を怠った場合、安全衛生法第22条の違反として、6カ月以下の拘禁刑または50万円以下の罰則が科される可能性があります。

※2 関係者とは、労働者だけでなく、当該作業に従事する労働者と同一の場所において、当該作業に従事する労働者以外の者を含みます

3 熱中症対策

熱中症アラートやWBGT（暑さ指数）等を参考にしながら、個人、事業所としてできる熱中症対策としては以下のようなものも考えられます。対策を進めるときに、参考にしてみてください。

熱中症対策一例



厚生労働省の参考サイト

- 厚生労働省「職場における熱中症予防対策の周知事業」



- 厚生労働省「熱中症関連情報」



熱中症は発症すると、後遺症が長引いたり、命に関わるような事態になったりします。事業所での対策はもちろん、個人でも自分自身や周りの人の命を守ることを意識して、生活や活動をしていきましょう。

01 まちづくり提案制度(松山市市民活動推進補助金)のご案内 が改正され、使いやすくなりました!~小学生から大学生が対象~

① まちづくり提案制度とは?

小学生から大学生の若者がアイデアを出し、行動する「まちづくり活動」を松山市が応援する制度です。

「こういう風にしたら、もっと住みやすくなる」「あしたら、みんながもっと笑顔になる」といったアイデアを出し、実際に実践する活動に対して、松山市が活動に必要なお金を補助しています。



② 制度改正の内容について

令和7年度申請分より以下の2点が変更になりました。

① 補助金交付上限金額の引き上げ ※100%補助

【改正前】	小学生: 5万円	中高生: 10万円	大学生: 15万円
【改正後】	小学生: 10万円	中高生: 15万円	大学生: 20万円

② 補助金交付上限回数の引き上げ

【改正前】	上限1回まで	→	【改正後】	上限3回まで
-------	--------	---	-------	--------



③ 募集期間と応募方法について

【募集期間】

毎年度4月上旬から5月下旬まで募集を行っています。

【応募方法】

- ① 採択申込書(様式第2号)、収支予算書(様式第3号)
- ② 学生であることの証明書(学生証のコピーなど)
※小・中学生は必要ありません

①②をメールや郵送、または持参にて、まつやまNPOサポートセンターか、松山市役所まちづくり推進課までご提出ください。

制度の詳細については、右記QRコードより松山市ホームページへ進んでいただき、昨年度の募集要領等をご覧ください。



松山市ホームページ



02 令和7年度 報告 松山市市民活動推進補助金採択団体決定!

松山市では市民活動を推進するため、「松山市市民活動推進条例」に基づいて「松山市市民活動推進基金」を設置し、市民の皆様から寄せられた寄付金と同額の市費を合わせ、NPO団体の活動に対する助成を行っています。令和7年度に採択された各団体と事業をご紹介します。各団体の活動にご注目ください。

▼ 立ち上がり支援

団体名	事業名
1 運動公園の動物を見守る会	地域猫事業
2 特定非営利活動法人 ひめだん	視覚に障がいを持つ方の自立支援事業
3 野真戸	子ども達の生きる力を食と学びと自然体験等を通して育てる事業
4 「新たな備えサポート隊 in松山」実行委員会	新たな備えサポート隊 in 松山
5 えひめジョリファムネット	「好き」が輝く仕事に変わる!マルシェで挑む女性応援プロジェクト

▼ 成熟促進支援

1 くぼの里山会	暮らしやすい持続可能な里山づくりを目指して!
2 NPO法人RES	高校生異文化交流 ~海外の仲間と伝統体験~
3 障がい者・児の性と生を考える会	障がい児のための性教育絵本 2 出版

▼ まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)

1 小学生 元気いっぱい子ども先生	こどもワクワク学校
2 小学生 Lala梅津寺	こども喫茶
3 小学生 ごごしまキッズクラブ	ごごしま 島ごと こども祭り
4 高校生 銀天街チーム	好きになる、帰りたくなる銀天街へ ~地域の記憶と共に、銀天街活性化のためのプロジェクト~
5 高校生 松山西 新世界学辞典	環境負荷の小さい持続可能な牡蠣養殖のための エシカル消費啓発活動
6 高校生 春夏秋冬 young team	つながる!ゆるっと運動会プロジェクト
7 高校生 済美高校自然科学部 宇宙班	新玉宇宙教室@済美 ~宇宙を感じて科学を楽しむ~
8 大学生 まちたまごプロジェクトえひめ	正岡子規が遺した句をたどれ 松山ことば謎解きプロジェクト
9 大学生 Recitation Square	It's a 朗読タイム!
10 大学生 チーム塩崎	学生ガイドツアー
11 大学生 くぼのもりあげ隊	元気で住みやすい松山いつまでも! ~関係人口増加で持続可能なまつやまづくりプロジェクト~

(順不同、敬称略) 次のページに続く

団体名

事業名

12	学生団体cues	みんなの教育を守り隊! Leave no one behind ～より良い社会はより良い教育から～
13	ベジタブル・キッチン	野菜でクッキング!
14	MARS 2 4	興居島レモンで広がる地域の輪
15	ひまわり	「フリースクールの子どもたちがつくるまちの文化祭」 ～多様な学びと繋がりの場づくり～
16	Ricky and Timbila Family	ティンビラプロジェクト ～音楽の力で愛媛とモザンビークをつなごう～
17	人間環境大学総合環境学部フィールド自然学科 持続可能な農業サークル	みんなで育てるサツマイモ・タマネギ ～地域とつながる有機栽培プロジェクト～

(順不同、敬称略)

03 報告 令和6年度 市民活動推進補助金採択団体活動報告 NPO Cafe～NPOぷち交流会～開催報告

令和6年度 市民活動推進補助金採択団体活動報告



4月6日(日)に、コムズで、令和6年度松山市市民活動推進補助金報告会が行われました。

設立後3年未満の「立ち上がり支援事業」の9団体、設立後3年以上の「成熟促進支援事業」の1団体、市内学生団体の「次世代育成支援事業」の2団体、計12団体が助成事業の成果を報告しました。

立ち上がりや成熟促進の団体は、今回の補助をきっかけに事業の維持や拡大を目指していきたいと話しました。学生団体は、イベントの告知などでSNSを活用し、事業の認知度向上や関心を持ってもらう機会が増えたと話しました。

最後の質疑応答の時間では、活発に質問がでており、団体同士の交流が深まる報告会となりました。

NPO Cafe～NPOぷち交流会～開催報告



4月6日(日)に、コムズで「NPO Cafe～NPOぷち交流会～」を行いました。

NPO関係者の4名にご参加いただき、まず、所属している団体の紹介をしていただきました。

今回は、子どもを対象の学習支援、子ども専用の相談窓口など、子どもに関わる団体の方に多く参加いただきました。

そのため、親子や子どもへの広報の仕方の工夫、学校との連携方法、外国籍の子どもの支援の状況など、子どもに関する様々な意見や事例の話がでていました。

今回の交流のように新しい取り組みや連携につながるきっかけになるような機会を継続的に作っていききたいと思います。

04 報告

令和7年度 松山市市民活動推進補助金採択団体の活動報告

令和7年度松山市市民活動推進補助金に採択された各団体の事業のうち、5月～6月に行われた活動の一部をご紹介します。

活動の詳細や今後のイベントについては、当センターのホームページやブログ、SNS及び各団体のSNS等に掲載されています。

ぜひ団体名で検索して、各種イベントに参加してみてください。

05
31

くぼの里山会



正八幡神社で「松山くぼの町ホタル祭り」を開催。臨時バスの運行や竹灯籠で彩られた道など、来場者への心配りが随所に見られました。屋台や地元産品販売、獅子舞、音楽ステージも盛況で、来場者は2000人を超えました。旧「奥久谷ほたる祭り」の想いを継ぎ、地域の温かさにぎわいを感じる催しとなりました。

06
07

NPO法人RES



石手寺で「高校生異文化交流～海外の仲間と伝統体験」を開催。フィリピンの学生22名、松山市の高校生6名が参加。地域の伝統文化体験では、松山市の高校生がお参りやおみくじの作法を丁寧に説明をしました。異なる文化を持つ若者同士が直接ふれ合い、互いに視野を広げる貴重な機会となりました。

06
17

特定非営利活動法人ひめだん



松山市総合福祉センターで「視覚に障がいを持つ方の自立支援事業」の練習会を開催。熱中症対策などの事前説明の後、視覚に障がいのある参加者が伴走者と一緒に走行しました。伴走者には危険を予測しながら走る力、対象者との連携が求められるそうです。継続的な訓練の大切さを感じました。

06
25

野真戸



清水ふれあいセンターで「野真戸無料塾」を開催。様々な理由で塾に通う子どもを対象に、大学生や教諭経験者ら4名のボランティア講師が、小学生から高校生の参加者7名に対し、丁寧な学習支援を行っていました。家とは違う、落ち着いた学習環境の重要性を認識する機会となりました。

06
26

運動公園の動物を見守る会



愛媛県総合運動公園で「猫への給餌とパトロール」を毎日実施。斜面や広場にある猫の給餌や水飲み場など約1時間の道のりを一緒に歩きました。猫の住まいとして改築した場所や手作りゲージもあり、現在1匹の猫を保護しています。地域住民の協力も進み、活動を継続した成果がでているようでした。